

編集 後記

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が5月25日に解除され少しずつ日常生活が戻ってきたのも束の間、7月に入って東京都などでは第2波ともいべき感染者数の増加が顕著となっています。そこに、熊本県を中心に豪雨による災害が発生。感染症対策と災害復旧を同時に行なわなければならない事態に直面しています。

今月号には、公衆衛生モニタリングレポート委員会の健康危機管理グループによる『我が国における健康危機管理の実務の現状と課題』が特別論文として掲載されています。この中で、“あらゆる災害（all hazards）に対応できる体制を構築するために、危機管理の基本である情報集約・分析・判断・実行・評価のサイクルの確立（危機管理調整システム）と危機管理の実務を支える学術基盤の強化が望まれる”との提言がなされています。また、“健康危機管理手法の標準化により、対応事例の検証や経験の共有が容易となり、科学的な蓄積を通じて、健康危機管理に必要な組織の強化や運用、実務の改善も共に進展する蓋然性が高い”と述べられています。多くの方々に、お読みいただきたい内容となっています。

また、今月号には、第79回日本公衆衛生学会総会の特別プログラムが掲載されています。数千人規模となる総会のオンライン開催に向けて、総会事務局の方々は日々悪戦苦闘されていることと推察いたします。今年の総会が、新たな公衆衛生および本学会のあり方が議論される有意義な総会となることを祈念しています。（関根道和）

次号予告（第67巻・第9号）

論 壇

COVID-19後の公衆衛生対応の強化に向けて：米国 CDC の概説と日本版 CDC 構想への論点整理……………杉山雄大，他

原 著

う歯・歯周病に関する管理栄養士・栄養士の学習状況と関連要因の検討……………相馬優樹，他
地域福祉コーディネーターによる地域への介入プロセス：被災地 A 市における社会関係資本の強化につながる可能性……………石黒 彩，他
日本人女性における乳がん発見率の変化：年齢，期間，コホート，地域差の検討…仕子優樹，他

資 料

気象と小児ぜん息患者数の関連調査：気象データとレセプトデータを活用した「Health Weather」の取り組み……………真田知世，他
都道府県の保健所における精神保健福祉業務の専従職員配置に関する調査……………岡田隆志

※第79回日本公衆衛生学会総会演題集は67巻9号に掲載いたします。